批判的思考スキルと態度および領域知識の関係性

食品に関する web 情報の信頼性の検討のために

○平山るみ¹・楠見孝²

(¹大阪音楽大学短期大学部・²京都大学大学院教育学研究科)

キーワード: 批判的思考, メディアリテラシー, 領域知識

Relationship between critical thinking skills, disposition and domain knowledge

Rumi HIRAYAMA¹ and Takashi KUSUMI²

(¹Osaka Junior College of Music, ²Graduate School of Education, Kyoto University)

Key Words: critical thinking, media literacy, domain knowledge

目 的

本研究では, web 情報の信頼性を判断するための批判的思考スキルの程度を大学生を対象に測定するとともに, スキルと批判的思考態度および領域的知識との関係を検討する。

批判的思考は, スキルや知識などの認知的側面と, 態度などの情意的側面によって支えられている。web 上の情報を鵜呑みにせず, 批判的に検討しその情報の信頼性を正しく判断するためには, その情報の裏付けを確認することが重要となる。web 情報の信頼性や妥当性を確認するためのスキルは, 大学生でも高くないことが指摘されている(後藤, 2006)。その実態をより詳細に検討するとともに, 批判的思考を支える要素間の関係性を検討する。

方 法

参加者 参加者は, 教職科目を履修している大学生 87 名(文系 71 名, 理系 14 名, 無回答 2 名, 男性 44 名, 女性 41 名, 無回答 2 名, 平均年齢 20.6 歳)であった。

材料 次の(1)から(6)の尺度により質問紙を作成した。(1)メディアに対する批判的思考スキル尺度(後藤, 2006) メディアの情報を適切に読み解くためのスキルを測定するため, 次の課題文を読み, 自由記述にて回答を求めた。「アキコさんは, あるホームページでダイエット食品「ダイエットS」を見つけました。ホームページには, ある医学者の紹介文として「この食品は値段が高いが, ダイエットの効果はある」と書いてありました。さらに, 実際にこの食品でダイエットに成功した3人の話ものっていました。そこへ, ケンタさんがやってきて, この情報が信頼できるかどうか確かめる方法を教えてくれました。ケンタさんになったつもりで「必要だと思われる情報」や「調べ方」を考えられるだけ書いてください。」(2)食品リスク知識尺度 食品リスクに関する知識をどの程度持っているかを測定するため, 平山・楠見(2015)で使用された10項目について「正しい」「正しくない」「わからない」のいずれかで回答を求めた。(3)食品リスク情報理解尺度(楠見・平山, 2013) 食品リスクに関わる疫学データなどの科学的情報の見方に関する知識量を測定する6項目について「知らなかった」「知っていた」のいずれかで回答を求めた。(4)食品リスクリテラシー尺度(楠見・平山, 2009) 日常における食品のリスク情報等についてのリテラシーについて, 11項目であった。(5)批判的思考態度尺度(平山・楠見, 2004)の改訂版 「論理的思考の自覚」「探究心」「客観性」「証拠の重視」の4因子各3項目の, 合計12項目で構成された。(6)認知的熟慮性-衝動性尺度(滝間・坂元, 1991) ある判断をするのに, より多くの情報を収集し, じっくり考えて慎重に結論を下す人かどうかの認知傾向を測定する, 10項目で構成された。(4)(5)(6)各尺度の項目について, 「1: あてはまらない」から「5: あてはまる」の5段階で評定させた。

手続き 講義中に質問紙を配布し, 調査を実施した。回答時間は, 15分であった。

結 果 と 考 察

表1 批判的思考スキルの各カテゴリーの回答生成率と他尺度との相関(N=72)

	生成率	食品リスク知識	食品リスク情報理解	食品リスクリテラシー	論理的思考	探究心	客観性	証拠の重視	熟慮性
必要な情報									
意見	19%	.06	.02	.11	-.06	.19	.05	-.03	.08
情報源の信頼性	15%	-.13	.13	-.06	-.04	.05	.05	-.08	.05
食品中の成分について	12%	-.17	-.04	.19	.04	.06	.05	-.09	-.04
詳細情報	10%	.14	.19	.04	-.04	-.12	-.14	.00	-.04
他の要因について	9%	.01	.10	.24*	.22	.19	.30*	.17	.13
データ数(確証)	7%	.03	-.08	-.01	.01	-.08	.04	-.11	-.20
ダイエットSの仕組み	6%	.19	.14	.12	.01	.07	.02	.00	.09
副作用情報	3%	.03	.00	.08	-.06	-.01	-.08	-.02	-.09
反証データ数	2%	.39*	.05	.02	-.04	-.04	-.07	-.06	-.05
その他	15%	.12	.00	.08	.03	.07	-.09	-.03	-.02
情報の調べ方									
口コミ情報で確認	32%	-.05	-.06	.05	-.12	.08	-.01	-.05	.00
他のHPを参照	23%	.01	-.07	.02	-.06	.11	-.05	.03	.07
当事者へ確認	20%	.18	.25*	-.01	.14	-.08	.03	.18	.09
本を参照	8%	.00	.00	-.13	.17	.11	.05	.02	.03
第三者へ確認	8%	-.21	-.03	-.04	.05	.13	.13	.12	.02
論文を参照	3%	.00	.11	.06	-.12	.11	.00	-.03	.02
自ら実験実施	3%	.14	.28*	.00	-.04	-.12	-.08	-.14	-.19
その他	3%	.05	-.11	-.09	.03	.15	.04	-.06	.00

(* $p<.05$)

メディアに対する批判的思考スキル尺度の自由記述回答について, 後藤(2006)で「それ以外に必要な情報」とされていたカテゴリーを細分化し分類した(表1)。記述された回答は, 必要情報については153個, 調べ方については74個であった。必要情報については, 口コミ等の「意見」が19%を占め, 他の要因の検討等, 判断に有効と考えられる情報は64%であった。調べ方については, 複数サイトでの確認といった有効情報源の参照は41%で, 口コミサイト等の非有効情報源の参照は58%であった。口コミサイトや当事者への問い合わせで52%を占めていた。後藤(2006)と同様に, 必要情報は記述できても調べ方は記述できない者も多く, また, 有効とは言えない情報源への信頼が高いことが明らかとなった。

批判的思考の要素間の関係性を検討するため, 尺度間の相関係数を算出した(表1)。批判的思考スキルの必要情報の「反証例」と食品リスク知識, 「他の要因」と食品リスクリテラシーおよび批判的思考態度の「客観性」との間に正の相関がみられた。調べ方については, 「当事者への確認」と「自分で実験」が, 食品リスク情報理解と相関がみられた。このように, 批判的思考スキルの一部は態度や領域知識と関連するが, 独立で教示することが必要なスキルもあることが示唆された。また, 食品リスク情報理解と態度の「証拠の重視」および熟慮性($r=.24, .24, p<.05$), 食品リスクリテラシー態度の「探究心」「証拠の重視」および熟慮性($r=.28, .28, .45 p<.05$)に正の相関がみられた。

謝 辞

本研究は, 科学研究費(23243071)の補助を受けて行われた。